



## 〈単元〉和太鼓を演奏してみよう

### ■活用教材

和太鼓

### ねらい

- 1.本物の太鼓の感触を味わいながら、力強く表現しようとする力を身につける。
- 2.太鼓の音が揃った時の喜びを感じながら、さらに周りとの協調しようとする力を身につける。
- 3.本物の太鼓を使用して、本物の音や皮の感触を体で感じる。
- 4.4～5人で太鼓1台というように台数を確保することで、台数が少なく大人数での不自由な中での指導とはならず、緊張感をもった活発な授業となる。

### 効果

- ・以前、手作りの太鼓で創作太鼓に取り組み、台数もそろわないうちは、机や床を太鼓代わりに練習したこともあるが、リズムを刻むだけで、太鼓本来の音を楽しむことができず、生徒の集中力も途中で途切れることが多かった。
- ・しかし、今回は授業の最初から本物の音に触られることで、生徒の授業に対する集中力が最後まで途切れないという効果を発揮した。
- ・特に、本物の和太鼓の音は何にも替え難いので、生徒に本物に触れさせることができたこと。
- ・簡単なリズムでも、複数の太鼓の音がそろったときの感動を味わうことができた。
- ・今後、地域や他の地方の保存会のリズムを模倣する太鼓から、自分たちで作る創作太鼓まで、幅広く活用していくことができる。
- ・また、老人ホーム、幼稚園、小学校、地域の行事などへ訪問演奏をする活動につなげることができ、生徒のボランティア精神や、行事に参加し役立とうとする気持ちを育てることができる。

### 実践内容

#### 導入

- 1.和太鼓をたたこう  
実際に和太鼓を目の前にして、パチをたたいてみる。  
和太鼓の感触に慣れる。(はね返りを感じる)

#### 展開

- 1.4つの異なるリズムを演奏してみよう。  
3～4人1組となり、各組で順番を決め、各組1人ずつ演奏をする形をとる。
- 2.振りをつけながら、演奏してみる。  
4つの異なるリズムに異なる振り(教師提案)を付け、スムーズにボタンタッチができるように「ハッ」と掛け声をかけながら演奏してみる。

#### まとめ

- 1.今日の評価と、次時の告知  
教師による今日の評価をおこない、次時の授業内容を伝える。



授業参観の授業にて、それぞれ打ち方を工夫して練習している様子



自分で振り付けをしなが、力強く太鼓をたたく生徒

実践事例で活用された教材

宮太鼓

5091040	本榿製	1尺4寸(42cm)
税込 ¥609,000		



※台は別売

宮太鼓

5089100	巻号	1尺4寸(42cm)
税込 ¥262,500		



こんな授業を  
提案します!

～和太鼓で伝統音楽に親しむ～



- 日本の伝統音楽を伝えるには欠かすことのできない和太鼓は、児童・生徒の表現力や創作力、協調性等を養うことができます。
- 和太鼓の編成は自由です。太鼓の大小にあわせて、低音用、中音用、高音用の3種類を基本に活用できます。また、鳴り物などを加えることにより一層効果的な表現が可能となります。和楽器とのふれ合い、郷土愛を大切にする児童・生徒を育てます。
- 音楽活動を通して地域との連携(スポーツ大会、お祭等)が深まります。

その他の教材紹介



5085210

太鼓バチ

5085210	税込 ¥1,890
5085240	税込 ¥2,310



長胴締太鼓

5084880	税込 ¥84,000
---------	------------



チャッパー(チャンボン)

5092450	税込 ¥6,300
---------	-----------



スリガネ

5087940	税込 ¥6,300
---------	-----------



シュモク

5087980	税込 ¥945
---------	---------